

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスこはる		公表日 2026/3/13		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分な活動スペースと個室を2部屋設置しており、児童の様子に応じて活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準を上回る配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレや洗面所、荷物置き場、出入口など児童にとって分かりやすい構造であり、バリアフリーである。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		広くて清潔で、児童が落ち着いて過ごせる空間である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童の意向あるいは児童の様子から職員が判断して使用できる環境である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		年度計画を立て半期ごとに評価を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの結果を参考に改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会や管理者による職員面談を実施し意見を反映できるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は受けていない。	今後検討していく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全職員が研修を受けることができる環境を整備している。また資格取得等の研修が受講できるよう配慮している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表している。事業所内に掲示を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用開始時のアセスメント、保護者・児童の要望および相談支援専門員等の情報をもとに放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的に全職員参加の支援会議を開き、検討を行ったうえで、放課後等デイサービス計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員が放課後等デイサービス計画を確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所で定められた様式に基づくアセスメントに加えて、日々の児童の様子を職員間で共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各児童の特性を踏まえながら、支援項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で十分に話し合い、活動内容を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で意見を出し合い、工夫しながら活動内容を決めている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の特性を踏まえて、計画作成及び支援の実施を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日その日の支援について打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に当日の児童の様子について情報共有を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録は徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直ししている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動や遊びを通して支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管あるいは児童指導員、リハビリスタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		他事業所や教育機関と連携することはあるが、医療機関との連携は乏しい。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の情報については保護者経由で得ることが多いが、学校から直接得る場合もある。連絡調整は適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		新1年生のときは移行支援会議に出席し情報を得ることができる場合もあるが、相談支援専門員だけの情報の場合もある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要な情報は直接福祉サービス事業所へ、あるいは相談支援事業所を通して情報提供を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○	今年度中も児童発達支援センターと連携したケースがない。	児童を担当している相談支援専門員の協力を得ながら行っていかなければならない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	今年度中も放課後児童クラブや児童館と交流したことがない。	事業所側から地域に対してかかわりを求める姿勢が必要となる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		業務との兼ね合いを見て、可能な限り参加を心がけている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用された日は必ず様子を保護者に伝達している。またご家庭での様子についても情報を得ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等はできていない。	事業所職員がペアレントトレーニングに係る研修に参加する等の取組が必要。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時や運営規定に変更が生じたときなど適宜説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画の作成時及び更新時に保護者や児童の意向調査を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず放課後等デイサービス計画について同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族から相談を受けた際は、丁寧に話を聞き必要な情報や助言を提供するよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会や保護者同士が交流する機会の提供はできていない。	実施されている事業所等を見学させていただく等の試みからノウハウを得ていきたい。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情を受けた際は速やかに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		S N Sを通じて事業所の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に個人情報に係る研修を実施し、教育を図りながら、個人情報の取扱いに注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもや保護者との意思疎通には十分配慮しているが、手話ができる職員は配置できていない。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人が企画する行事に、児童及び保護者に参加し頂いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		左記マニュアルのうち、防犯マニュアルは策定できていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		B C Pは策定しており、災害発生時のシュミレーションを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		現在、利用中に服薬を必要とする児童やてんかん発作を生じる児童の利用はない。予防注射について意図的に情報を収集していない。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーに係る情報は保護者から得ている。	医師の指示書を提示されたこと、得たことがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しており、火災時の訓練や災害時の避難訓練等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は年度内にホームページで公表する予定である。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		今年度中にヒヤリハット報告・共有体制を改正した。全職員でヒヤリハットを共有し、事業所の職場環境改善に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止にかかる研修、委員会を定期的に実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とする事例はない。ただしこれに関する委員会、研修は実施している。	